

【事業実績】

1. 城下町まるごと博物館事業実行委員会

(1) 検討会議の開催 第1回を5月21日(木)、第2回を11月11日(水)に開催。第3回は3月16日～23日の期間で書面会議を実施した。実行委員ならびに事務局である徳島城博物館の職員が参加し、第1回は事業計画の確認、第2回では中間報告、そして第3回は主要事業終了に伴う検討を行った。委員からは、地域の寺社や文化の価値化を図るとともに、将来の観光コンテンツ化や情報発信なども見据えた展開を期待する意見もあった。第3回に寄せられた意見では、寺町の寺社や文化の価値を高める上で有意義な事業になったと評価され、今後の事業の継続と、発展を期待する意見をいただいた。



2. 寺社に存する文化財と博物館資料との相互活用に基づく城下町の魅力発信事業

(1) 寺社が所蔵する文化財調査の実施

徳島城下に関わる資料を所蔵する観音寺、春日神社、東福寺、明王院の4寺社を調査し、計249点の資料を図版目録として刊行することができた。徳島の寺社にはまだ知られていない多くの文化財が所蔵されていることが判明。当初予想していた数量をはるかに上回る点数の資料を確認し、記録化することができた。



(2) 寺社の名宝を紹介する展覧会の博物館における開催

2-(1)の文化財調査を基礎に、徳島市立徳島城博物館を会場として11月28日～1月31日の会期で実施したのが企画展「眠れるお寺の宝物」である。51日間の会期中3,711人の観覧者があった。会期中には講演会を2回実施しており、12月26日「阿波の住吉派絵画／幻の七感状」=22人、1月16日「城下寺社と町人／近世の海部刀」=36人の参加をみた。



会期中のアンケートには「非常に勉強になった」「説明書きも分かりやすいし、展示も見やすかった」「これからも見やすく、おもしろい博物館であってほしい」などの声が寄せられた。また寺院の檀家などが集まり団体で見学に訪れる姿も見られた。ゆかりの深い寺社に伝来、所蔵されている文化財の価値を見直すきっかけになったことと思われる。

(3) 寺町の各寺社における歴史パネル展示&寺宝公開

「徳島城」「寺町」「大滝山」「錦竜水」「城下町」の展示パネル5枚と、「お城寺町まち歩き」の幟16本を作成

し、3月7日(日)・14日(日)開催の「お城寺町まち歩き」に合せて、寺社などの見学ポイントに設置した。また春日神社所蔵の文化財については、隣接する春日会館の大広間を会場として特別公開を実施した。当初、特別公開を予定していた寺院はコロナ禍のため寺院建物内への不要不急の立ち入りを直前になって断られてしまったため、春日神社のみの特別公開となったが、社宝を間近に拝観できた催しものは参加者の好評を得た。



3. 城下町の歴史を巡る街歩きマップ（日本語版・英語版）の作製

(1) マップ作製業務

「お城寺町まち歩きマップ」と題したA1判、両面4色刷、日本語版8,000部、英語版2,000部発行のマップを作成した。徳島城跡と寺町を中心とした城下町徳島の歴史探訪のためのマップであり、2-(3) および 4-(2) の街歩きイベントで使用した他、寺町の関係者、関係機関などに配布。今後は観光案内所に配布し活用してもらおう予定である。

4. 食文化から探る徳島城と城下町の魅力再発見事業

(1) 徳島の食文化と遊山の伝統に関する研究会と講演会の実施

6月5日(金)、7月30日(木)、9月9日(水)の3回、徳島城博物館で「阿波の郷土料理研究会」を実施した。徳島の伝統文化のひとつである遊山箱に収めた食べ物や郷土料理に関する文献調査、未来に残したい阿波の郷土料理等について検討を加え、その成果を12月13日(日)の公開講演会で発表した。公開講演会では遊山箱と郷土料理をテーマに基調報告とパネルディスカッションを行った。



参加者からは「今回初めて聞く料理が多くありました。徳島の中でも地域によって採れる食材が違うので、その土地によって違う料理ができるのだと思いました。父が昭和30年代の生まれですが、小さい頃、遊山箱にいろいろを詰めてもらったのを覚えていると言っていました」「徳島はたくさんの誇れる食材、郷土料理があることが分かりました」「子供の頃を思い出して非常に懐かしかった」「遊山箱のお話を聞いて私も友達と城山、諏訪神社に行って食べた記憶があります」などの感想が寄せられた。

(2) 徳島の伝統食を詰めた遊山箱による街歩きイベントの開催

3月7日(日)、14日(日)に「お城寺町まち歩き」を開催。参加者には遊山箱を手に提げながら、7日は徳島城跡から事代主神社、新町橋を経て寺町へ、14日は徳島城跡から富田橋を通過して観音寺、天神社を経て寺町へ到るコースを通った。両日も最後に春日神社の社宝の特別公開を見学して解散とした。なおコロナ禍のため、当初は遊山箱に伝統食を詰める予定を、個包装の菓子に変更して実施した。参加者からは「遊山箱を提げて気分が子供心になりました。いつも知っている場所を解説してくれ、住んでいる街を見直すことができました」「手間が掛るだろうが時々開いてほしい」「参加して大変良かったです。徳島の城下町が残っているのですね」「多寺院を詳しく説明して下さい最後の春日神社で貴重なびょうぶを間近で拝見、説明して下さいとても良かったです」「コロナ禍で旅行もできなかったが、地元でもすばらしい数々のものがあり、知らなかった事が多くてこれからは勉強していきたいです」と、徳島城下の歴史・文化に対する興味、関心を深めていただくことができた。

